

# 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果

## －平成25年6～10月－

医動物担当では、健康福祉局蚊媒介感染症サーベイランス事業の一環として主に市内公園および港湾地区等において感染症媒介蚊生息状況調査を行っています。その地域特有の蚊の生息状況を把握しておくことは、ウエストナイル熱やデング熱等の蚊媒介感染症が発生した場合に、防除対策計画を立てるうえで重要な資料となります。平成25年度は、6月から10月にかけて横浜市内19か所（各10回）で、各区福祉保健センター生活衛生課と連携し、蚊成虫捕獲調査を行いました（図1）。調査には、CDC型バッテリー式ライトトラップという昆虫類を捕獲する機器を用いました（写真1）。蚊を誘引するためにドライアイス1kgをトラップ屋根付近に設置し、トラップを原則として一昼夜運転しました。捕獲された蚊は調査地点ごとに種類を同定し、雌成虫については、ウイルス検査担当に供出しました。蚊媒介感染症ウイルス検査結果については後日、横浜市衛生研究所HPに掲載する予定です。今回は、市内における蚊成虫生息状況調査結果について報告します。



写真1 CDC型ライトトラップ

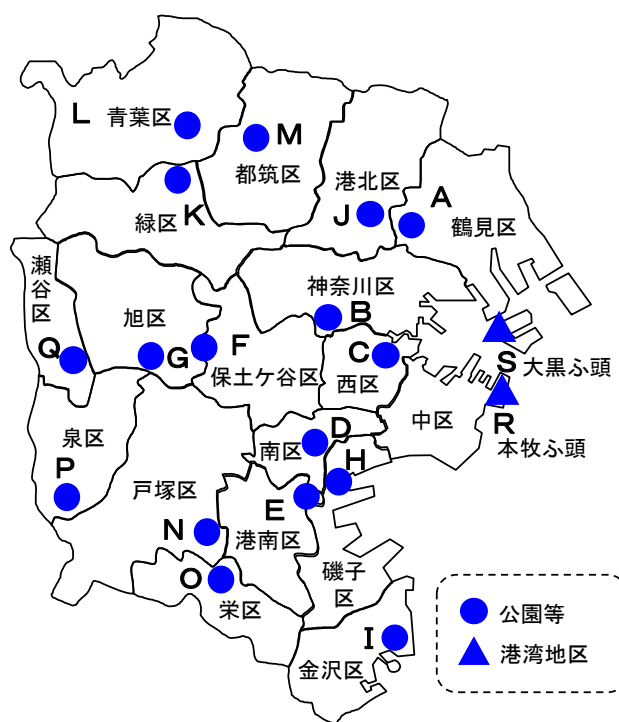


図1 蚊成虫捕獲調査地点

### 〈捕獲された蚊の種類と個体数〉

捕獲された蚊の種類と個体数を表1に示しました。捕獲された蚊成虫の雌雄合計は、6属10種10,025個体でした。

最も多く捕獲された種類は、ヒトスジシマカ8,400個体(83.8%)でした。次いで、アカイエカ群\*1が1,048個体(10.5%)でした。また、キンパラナガハシカが283個体(2.8%)、ヤマトヤブカが189個体(1.9%)捕獲されました。

\*1:アカイエカ群には、アカイエカ、チカイエカ、ネッタイエカの3亜種が含まれます。3亜種は外部形態だけでは、実体顕微鏡下での同定が難しいため、多くの調査ではアカイエカ群として扱われています。

表1 捕獲された蚊の種類と個体数

属	種	個体数			
		雌	雄	合計	(%)
イエカ属	アカイエカ群	1,036	12	1,048	(10.5)
	コガタアカイエカ	10	0	10	(0.1)
	カラツイエカ	21	1	22	(0.2)
	トラフカクイカ	1	0	1	(0.01)
ヤブカ属	ヒトスジシマカ	7,663	737	8,400	(83.8)
	ヤマトヤブカ	184	5	189	(1.9)
クロヤブカ属	オオクロヤブカ	20	0	20	(0.2)
ナガハシカ属	キンパラナガハシカ	215	68	283	(2.8)
ナガスネカ属	ハマダラナガスネカ	5	1	6	(0.06)
チビカ属	フタクロホシチビカ	4	2	6	(0.06)
その他*		39	1	40	(0.4)
合計		9,198	827	10,025	

\*2:破損の激しいもの



アカイエカ群



ヒトスジシマカ

### 〈調査地点別の蚊捕獲数〉

調査地点別の蚊捕獲数を図2に示しました。調査期間中最も多く捕獲されたのは、磯子区内公園 (H) で1,285個体、次いで鶴見区内公園 (A) で1,252個体、鶴見区大黒ふ頭 (S) で1,120個体でした。一方最も少なかったのは、青葉区内施設 (L) で36個体でした。また、港湾地区の中区本牧ふ頭 (R) はアカイエカ群優占でしたが、その他の調査地点はヒトスジシマカ優占でした。

アカイエカ群とヒトスジシマカの生態は、検査情報月報2011年1月号「[横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果\(平成22年6～11月\)](#)」に掲載されています。参考にしてください。

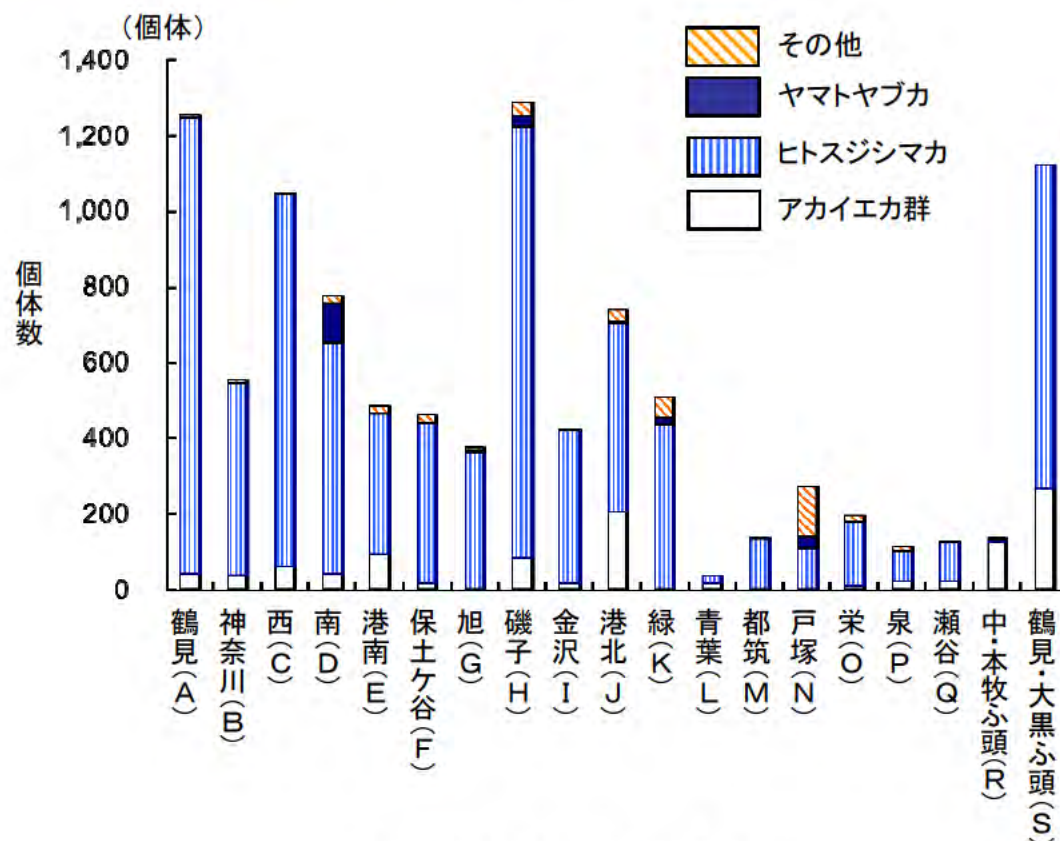


図2 調査地点別の蚊捕獲数

【 検査研究課 医動物担当 】